



古石

後援会だより

URL: http://古石.com/

発行日 令和2年6月 第3213号
古石見沢市 後援会事務所
岩見沢市 向町1条1丁目
TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

ふるさと納税19年度3割増し

コロナ禍で見落とせない「多様なリスク」への視点

「ウィズコロナ」という言葉が表すように、当分の間、私たちの生活は、新型コロナウイルスとの共存が想定される。こうした状況下で、私たちが向き合

うべき課題は何か。東日本大震災の被災地復興に携わり続ける、立命館大学の開沼博准教授に話を聞いた。(聞き手=志村清志・村上進)



インタビュー 立命館大学 開沼博 准教授

危機の時代を生きる

日本においては、ウイルス感染症による「直接的なリスク」は、抑えられたと見えます。むしろ今後は、コロナ禍の影響で起る「間接的なリスク」を二層、考慮していかなくてはなりません。

「コロナ禍が長期化する現状を、どのように考えていますか。」
「はい、まず、1984年生まれ、福島出身、東大卒、専攻は社会学。福島県立立命館大学(現立命館大学)で社会学を専攻し、2010年から、立命館大学准教授を務めています。主な著書として、『はじめての福島』『1945年の正義』などがあ

中小企業支援に遅れ

家賃給付申請 来月以降にずれ込み

家賃支援給付金の申請開始が遅れている理由
対象となる条件が2種類あるなど制度が複雑
自民党内で分割給付を求める意見があり調整が難航
持続化給付金の事務委託を巡る問題を受け、予定外の外部有識者会議の設置など対応に追われている影響も

支援支援給付金は、新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業に対する政府の支援が遅れている。2020年度第2次補正予算の柱の一つとして、家賃支援給付金が、当初は5月中旬とされた申請開始時期が7月以降にずれ込み、申請開始の遅れが、事業者の苦しみも影響を及ぼしている。申請開始が遅れている理由を、申請方法などについて、野野村氏に聞いた。

甘い制度設計、委託巡る混乱影響か
は19日までに済んだ。収入が半減した中小企業に最大60万円の支援を申請する時期は、今年10月1日までの申請期間が、税の申告方法の遅い対象外にもなっている。フリーランスにも対象拡大するが、最大分の申請開始は6月の中旬から内月に入ると、新規申請については売上高の減少が第三者が証明する方法、フリーランスについては申請期間を定める方法に手を取っている。

道のコロナ予算

見せかけでない対策を

道は、新型コロナウイルス対策の第4弾となる3677億円の補正予算案を道議会に提出した。道の補正予算としては過去最大規模で、外出自粛などで冷え込んだ経済の活性化と、感染の第3波に備えた医療・福祉の体制強化に手厚く配分したという。

小企業にとつて需要は高い。一方で、返済のためにかえって経営が悪化する懸念もある。大幅な返済猶予などが必要になるだろう。経済対策として、市町村が発行するプレミアム付き商品券や、経営難に陥った鉄道・バス事業者が発行する割引乗車券への補助なども盛り込んだ。

いずれも機材が足りないことと、人工心肺装置は扱う専門スタッフが要る。医療従事者を慰労したいという寄付者の思いは理解できるとしても、やはり機材や人材の確保が先ではないか。PCR検査は1日最大1700件まで可能になるというが、実績はずっと少ない。抗原検査なども含め、感染者を早期に把握する仕組みを構築しなければならぬ。

道産牛ブランド化に力

知事表明 肥育技術底上げを図る

道産牛のブランド化を高めるため、肉質の改善や生産数の増大に力を入れる考えを示した。農林水産部は、肉用牛の生産目標数を設定し、関係機関と連携して、道内の畜産農家の肥育技術の底上げを図る。

道議会が23日、議会運営委員会、来年度の定例会から全議員100人と幹部職員にタブレット端末を配布することを決めた。タブレット化が目的。導入の初期費用は400万円、導入後のリース費を含む年間経費は約1500万円。

道議会 タブレット導入

来年2月 年間経費1500万円

年間経費は議員1人あたり15万円。道に交付される政府活動費は経費削減に充てることができると、道議会関係者はタブレットは公務に関するものなので道産物やメンテナンス費は別途で賄うと説明している。道議会ではコピー機のリース料や紙の資料に必要な経費は年約800万円。タブレットを導入しても操作に慣れない議員への資料配布は印刷機かけを省かないとみられ、経費削減の効果は未だ不明だ。(安倍昭博)



フェイスシールドを着用し、商工会職員に体温計を試用する太田店主

体温計とフェイスシールド配布

三笠市商工会が理、美容室などに
【三笠】新型コロナウイルスの感染対策を支援する。所に非接触型の体温計とフェイスシールドを配布する。
担当者「(感染リスクを下げる生活様式)新北海道スタイルを実践し、売り上げを維持する取り組みが必要」と話す。(石橋治佳)

エースシールドを配った。不特定多数の客と接する中小企業を対象とし、18、19日に体温計45台を1台ずつ貸与、フェイスシールドは美容室、理容室などの21事業所に4枚を贈った。両方を受け取った太田美容室の太田芳美店主は「(石見沢の美容室でクラスターが出た影響もあるのか、客はいつもの半分以下、マスクとシールドで、お客さんは少しでも安心できると思う)と話した。今後、26事業所に感染予防のための透明な仕切りを配布予定。

岩内町一般職員給与5%削減へ
【岩内】新型コロナウイルス対策のため、一般職員の給与を一律5%削減する方針を決めた。開会中の定例会で23日、関係者から賛成が示された。
【岩内】新型コロナウイルス対策のため、一般職員の給与を一律5%削減する方針を決めた。開会中の定例会で23日、関係者から賛成が示された。